

表紙	帳票管理	帳票名称 用紙サイズ	32 国民健康保険料（税）減免取消決定通知書 A4
----	------	---------------	------------------------------

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	郵便番号		●			●	
2	住所		●			●	
3	氏名		●			●	
4	カスタマバーコード		●			●	
5	発行日	和暦表記	●			●	
6	役職名		●			●	
7	苗字名		●			●	
8	印影		●			●	
9	申請年月日	和暦表記	●			●	
10	文書		●			●	
11	対象年度	和暦表記	●			●	
12	被保険者番号		●			●	
13	決定年月日	和暦表記	●			●	
14	世帯主氏名		●			●	
15	減免区分		●			●	
16	取消前決定額		●			●	
17	減免取消額		●			●	
18	取消後決定額		●			●	
19	減免取消理由		●			●	
20	教示文		●			●	
21	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
22	問い合わせ先 住所		●			●	
23	問い合わせ先 課名		●			●	
24	問い合わせ先 電話番号		●			●	
25	通知文行		●			●	
26	連番	(引)抜用番号) 当該帳票を発行する保険者の公印	●				
27	公印		●			●	

表紙	帳票管理	帳票名称 用紙サイズ
		33 納付書 1 (カク公) (eL-ORあり) 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	課税年度	和暦表記	●			●	
2	科目名称		●			●	
3	納付金額合計		●			●	
4	納付書管理番号		●			●	
5	確認番号		●			●	
6	納付区分		●			●	
7	通知書番号		●			●	
8	帳票用期月	①全期前納の場合、“全期” ②通番単位で出力の場合、“09期” ③上記以外の場合、期別 + “期”	●			●	
9	納期限和暦	和暦表記	●			●	eLTA対応に伴うレイアウト表示のため、必須項目 とし、帳票レイアウト表示も見直し
10	OCR		●			●	
11	コピ・コード	コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	●			●	
12	コピ・OCR		●			●	
13	納付者氏名	和暦表記	●			●	
14	対象年度		●			●	
15	郵便番号		●			●	
16	住所		●			●	
17	氏名		●			●	
18	カスタマバーコード		●			●	
19	出力連番	(引抜用番号)	●			●	
20	発行年月日	和暦表記	●			●	
21	役職名		●			●	
22	肩書名		●			●	
23	公印		●			●	
24	納付金額	当該帳票を発行する保険者の公印	●			●	
25	延滞金収納額	期別調定額 - 期別収納額	●	●		●	
26	被保険者番号			●			
27	備考 1	設定された文言を印字する (印字例) 取扱期限、支払期限	●			●	帳票レイアウトに合わせて規定しました。
28	編集 1	設定された項目を印字する (想定される印字項目) 取扱期限日、支払期限日	●			●	帳票レイアウトに合わせて規定しました。
29	督促手数料		●			●	
30	延滞金		●			●	
31	納奨金			●			
32	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を 標準オプションとする。
33	eLマーク		●			●	
34	eL番号	「eL番号」：「共通納税機関コード」-「案件特定キー」-「確認番号」-「税目料 金番号」		●			MPN標準帳票の場合、eL番号は「収納機関番号」、 「納付番号」、「確認番号」及び「納付区分」欄に 印字するため、納入済通知書の下部に記載の「eL番 号」をオプションとし、非表示項目へ見直し
35	eL-OR		●			●	
36	地方税統一QRコード		●			●	
37	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
38	問い合わせ先 住所		●			●	
39	問い合わせ先 課名		●			●	
40	問い合わせ先 電話番号		●			●	

表紙	帳票管理	帳票名称	34 郵便払込票
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	郵便番号		●			●	
2	住所		●			●	
3	氏名		●			●	
4	義務者氏名	送付先が納税管理人の場合に「義務者氏名」を表示	●			●	
5	課税年度	和暦表記	●			●	
6	対象年度	和暦表記	●			●	
7	税目名称		●			●	
8	期月	①全期前納の場合、“全期” ②通番単位で出力の場合、“09期” ③上記以外の場合、期別 + “期”	●			●	
9	通知書番号	(引抜用番号)	●			●	
10	納期限	和暦表記	●			●	
11	期別未納額	期別調定額 - 期別収納額	●			●	
12	延滞金	延滞金調定額 - 延滞金収納額	●			●	
13	督促手数料	督促料調定額 - 督促料収納額	●			●	
14	前納報奨金		●			●	
15	納付額	期別調定額 - 期別収納額	●			●	

表紙	帳票管理	帳票名称 用紙サイズ	35「通帳用納付書1（カク公）（eL-QRあり）」 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	課課年度	和暦表記	●			●	
2	納付合計金額		●			●	
3	収納機関番号		●			●	
4	納付番号		●			●	
5	確認番号		●			●	
6	納付区分		●			●	
7	対象年度	和暦表記	●			●	
8	期別		●			●	
9	通知書番号		●			●	
10	備考 1	設定された文言を印字する （印字例） 取扱期限、支払期限	●			●	帳票レイアウトに合わせて規定しました。
11	編集 1	設定された項目を印字する （想定される印字項目） 取扱期限日、支払期限日	●			●	帳票レイアウトに合わせて規定しました。
12	QR		●			●	
13	コピートQR		●			●	
14	コピートコード	コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	●			●	
15	納付者氏名		●			●	
16	科目名称		●			●	eLTA対応に伴うレイアウト見直しのため、必須項目として追加し、帳票レイアウト表示も表示とする
17	納期限和暦	和暦表記	●			●	
18	領収印欄期月		●			●	
19	納付金額		●			●	
20	郵便手数料		●			●	
21	延滞金		●			●	
22	eLマーク		●			●	MPN標準帳票の場合、eL番号は「収納機関番号」、「納付番号」、「確認番号」及び「納付区分」欄に印字するため、納入済通知書の下部に記載の「eL番号」をオフションとし、非表示項目へ見直し
23	eL番号	「eL番号」：「共通納税機関コード」-「案件特定キー」-「確認番号」-「税目料金番号」		●			
24	eL-QR		●			●	
25	地方税統一QRコード		●			●	

表紙	帳票管理	帳票名称 用紙サイズ	36「通帳用納付書2（マル公）（eL-QRあり）」 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	課課年度	和暦表記	●			●	金融機関・郵便局・コンビニで使用でき、クレジット納付、マルチペイメントに対応した統一様式の納付書を出力可能とするため、様式を変更。
2	納付金額		●			●	
3	対象年度	和暦表記	●			●	
4	通知書番号		●			●	
5	期別		●			●	
6	被保険者番号		●			●	
7	納期限	和暦表記	●			●	
8	備考 1	設定された文言を印字する （印字例） 取扱期限、支払期限	●			●	
9	編集 1	設定された項目を印字する （指定される印字項目） 取扱期限日、支払期限日	●			●	
10	OCR		●			●	
11	納付者氏名		●			●	
12	コピ-OCR		●			●	
13	コピ-コード	コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	●			●	
14	督促手数料		●			●	
15	延滞金		●			●	
16	納奨金		●	●		●	
17	領収印欄期月		●			●	
18	科目名称		●			●	
19	納付合計金額		●			●	
20	eLマーク		●			●	
21	eL番号	「eL番号」：「共通納税機関コード」-「案件特定キー」-「確認番号」-「税目料 金番号」	●			●	
22	eL-QR		●			●	
23	地方税統一QRコード		●			●	

國民健康保險個人明細書

歳次

国民健康保険税個人明細書

通知書番号

被保険者氏名	区分	※：国保加入者 G：継続世帯主 S：非自給的扶養者												未申告 該当	所得割(円)	均等割(円)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	医療															
	介護															
	子ども															
	合計															
	医療															
	介護															
	子ども															
	合計															
	医療															
	介護															
	子ども															
	合計															

税額超過世帯以外は〇〇円、世帯は年間しりあせすにたひ。

- ・個人の所得割額と均等割額の合計が、国保費額となります。(各区分毎に1,000円未満を切り捨てます。)
ただし、限度超過額・減免額等のある世帯では一致しない場合があります。
- ・限度超過世帯の被保険者人数に算入(増徴)や総所得の変動があっても年間保険税に変更がない場合があります。

歳次

左記被保険者以外他〇〇名。詳細はお問い合わせください。

- ・個人毎の所得割額と均等割額の合計が、国税額となりす。 (各区分毎に100円未満を切り捨てます。)
- ただし、限度超過額・減免額等のある世帯では一致しない場合があります。
- ・限度超過世帯の被保険者人数に異動 (増減) や総所得の変更があっても年間保険税に変更がない場合があります。

納付書

納付書

納付書	納付書
納付書	納付書
納付書	納付書

納付書のレイアウトは、(別紙4) 国保 飯票レイアウト 02 試験管理 35. 連帳用納付書1・36. 連帳用納付書2を参照

納付書のレイアウトは、(別紙4) 国保_帳票レイアウト_02_賦課管理_35. 運転用納付書1・36. 運転用納付書2を参照

表紙	帳票管理	
	帳票名称	用紙サイズ
	37 納入通知書（運帳 一般）_二方式用	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	賦課年度	和暦表記	●			●	
2	発送日	和暦表記	●			●	
3	通知書名		●			●	
4	郵便番号		●			●	
5	住所		●			●	
6	氏名		●			●	
7	被保険者番号		●			●	
8	通知書番号	(引抜用番号)	●			●	
9	文言1	“あな”の国民健康保険税（料）について次のとおり決定しましたので通知します”	●			●	
10	前回決定額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
11	今回決定税額		●			●	
12	証明者名		●			●	
13	証明者役職名		●			●	
14	公印	当該帳票を発行する保険者の公印	●			●	
15	カスママーバーコード		●			●	
16	徴収方法	仮徴収額又は本徴収額がある場合、“特別徴収”を設定	●			●	
17	氏名	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
18	生年月日	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定 日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	国保料については国保法施行規則第32条の19、国保税については地方税法第七百十八条の三 および 地方税法施行規則第二十四条の三十二において、通知が規定されていることから、実装必須とする。
19	性別	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定 打ち出し形式（例）男 or 女	●			●	
20	住所	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
21	特別徴収義務者	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
22	特別徴収対象年金	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
23	特別徴収対象年金額	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
24	文言2	“（来年度の仮徴収のご案内）来年度の4月、6月、8月は特別徴収仮徴収額として2月の特別徴収額と同額が天引きされます。”	●			●	
25	賦課年度	和暦表記	●			●	
26	普通徴収納期1	普通徴収1期	●			●	
27	普通徴収納期2	普通徴収2期	●			●	
28	普通徴収納期3	普通徴収3期	●			●	
29	普通徴収納期4	普通徴収4期	●			●	
30	普通徴収納期5	普通徴収5期	●			●	
31	普通徴収納期6	普通徴収6期	●			●	
32	普通徴収納期7	普通徴収7期	●			●	
33	普通徴収納期8	普通徴収8期	●			●	
34	普通徴収納期9	普通徴収9期	●			●	
35	普通徴収納期10	普通徴収10期	●			●	
36	普通徴収納期11	普通徴収11期	●			●	
37	普通徴収納期12	普通徴収12期	●			●	
38	普通徴収納期13	普通徴収13期	●			●	
39	普通徴収1期納期限	普通徴収1期	●			●	
40	普通徴収2期納期限	普通徴収2期	●			●	
41	普通徴収3期納期限	普通徴収3期	●			●	
42	普通徴収4期納期限	普通徴収4期	●			●	
43	普通徴収5期納期限	普通徴収5期	●			●	
44	普通徴収6期納期限	普通徴収6期	●			●	
45	普通徴収7期納期限	普通徴収7期	●			●	
46	普通徴収8期納期限	普通徴収8期	●			●	
47	普通徴収9期納期限	普通徴収9期	●			●	
48	普通徴収10期納期限	普通徴収10期	●			●	
49	普通徴収11期納期限	普通徴収11期	●			●	
50	普通徴収12期納期限	普通徴収12期	●			●	
51	普通徴収13期納期限	普通徴収13期	●			●	
52	更正後普通徴収額合計	更正後普通徴収額1～13の合計 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
53	更正後特別徴収額合計	更正後特別徴収額1～13の合計 * 特別徴収01期～特別徴収06期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
54	更正前普通徴収額合計	更正前普通徴収額1～13の合計 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
55	更正前特別徴収額合計	更正前特別徴収額1～13の合計 * 特別徴収01期～特別徴収06期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	

表紙	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
56	更正後普通徴収額1	普通徴収1期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
57	更正後普通徴収額2	普通徴収2期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
58	更正後普通徴収額3	普通徴収3期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
59	更正後普通徴収額4	普通徴収4期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
60	更正後普通徴収額5	普通徴収5期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
61	更正後普通徴収額6	普通徴収6期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
62	更正後普通徴収額7	普通徴収7期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
63	更正後普通徴収額8	普通徴収8期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
64	更正後普通徴収額9	普通徴収9期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
65	更正後普通徴収額10	普通徴収10期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
66	更正後普通徴収額11	普通徴収11期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
67	更正後普通徴収額12	普通徴収12期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
68	更正後普通徴収額13	普通徴収13期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
69	更正後特別徴収額1	特別徴収1期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
70	更正後特別徴収額2	特別徴収2期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
71	更正後特別徴収額3	特別徴収3期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
72	更正後特別徴収額4	特別徴収4期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
73	更正後特別徴収額5	特別徴収5期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
74	更正後特別徴収額6	特別徴収6期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
75	更正後特別徴収額7	特別徴収7期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
76	更正後特別徴収額8	特別徴収8期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
77	更正後特別徴収額9	特別徴収9期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
78	更正後特別徴収額10	特別徴収10期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
79	更正後特別徴収額11	特別徴収11期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
80	更正後特別徴収額12	特別徴収12期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
81	更正後特別徴収額13	特別徴収13期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
82	更正前普通徴収額1	普通徴収1期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
83	更正前普通徴収額2	普通徴収2期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
84	更正前普通徴収額3	普通徴収3期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
85	更正前普通徴収額4	普通徴収4期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
86	更正前普通徴収額5	普通徴収5期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
87	更正前普通徴収額6	普通徴収6期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
88	更正前普通徴収額7	普通徴収7期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
89	更正前普通徴収額8	普通徴収8期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	

業務	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
90	更正前普通徴収額9	普通徴収9期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
91	更正前普通徴収額10	普通徴収10期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
92	更正前普通徴収額11	普通徴収11期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
93	更正前普通徴収額12	普通徴収12期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
94	更正前普通徴収額13	普通徴収13期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
95	更正前特別徴収額1	特別徴収1期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
96	更正前特別徴収額2	特別徴収2期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
97	更正前特別徴収額3	特別徴収3期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
98	更正前特別徴収額4	特別徴収4期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
99	更正前特別徴収額5	特別徴収5期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
100	更正前特別徴収額6	特別徴収6期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
101	更正前特別徴収額7	特別徴収7期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
102	更正前特別徴収額8	特別徴収8期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
103	更正前特別徴収額9	特別徴収9期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
104	更正前特別徴収額10	特別徴収10期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
105	更正前特別徴収額11	特別徴収11期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
106	更正前特別徴収額12	特別徴収12期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
107	更正前特別徴収額13	特別徴収13期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
108	納付済普通徴収額合計	納付済普通徴収額1～13の合計値	●			●	
109	納付済特別徴収額合計	納付済特別徴収額1～13の合計値	●			●	
110	納付年月1	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
111	納付年月2	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
112	納付年月3	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
113	納付年月4	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
114	納付年月5	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
115	納付年月6	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
116	納付年月7	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	

業務	賦課管理	帳票名称 用紙サイズ	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
117	納付年月8	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
118	納付年月9	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
119	納付年月10	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
120	納付年月11	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
121	納付年月12	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
122	納付年月13	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
123	納付済普通徴収額1	普通徴収1期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
124	納付済普通徴収額2	普通徴収2期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
125	納付済普通徴収額3	普通徴収3期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
126	納付済普通徴収額4	普通徴収4期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
127	納付済普通徴収額5	普通徴収5期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
128	納付済普通徴収額6	普通徴収6期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
129	納付済普通徴収額7	普通徴収7期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
130	納付済普通徴収額8	普通徴収8期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
131	納付済普通徴収額9	普通徴収9期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
132	納付済普通徴収額10	普通徴収10期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
133	納付済普通徴収額11	普通徴収11期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
134	納付済普通徴収額12	普通徴収12期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
135	納付済普通徴収額13	普通徴収13期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
136	納付済特別徴収額1	特別徴収1期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
137	納付済特別徴収額2	特別徴収2期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
138	納付済特別徴収額3	特別徴収3期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
139	納付済特別徴収額4	特別徴収4期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
140	納付済特別徴収額5	特別徴収5期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
141	納付済特別徴収額6	特別徴収6期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
142	納付済特別徴収額7	特別徴収7期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
143	納付済特別徴収額8	特別徴収8期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
144	納付済特別徴収額9	特別徴収9期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	

表紙	賦課管理	
	帳票名称	用紙サイズ
	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
145	納付済特別徴収額10 納付済特別徴収額11 納付済特別徴収額12 納付済特別徴収額13 差引普通徴収額1 差引普通徴収額2 差引普通徴収額3 差引普通徴収額4 差引普通徴収額5 差引普通徴収額6 差引普通徴収額7 差引普通徴収額8 差引普通徴収額9 差引普通徴収額10 差引普通徴収額11 差引普通徴収額12 差引普通徴収額13 差引普通徴収額合計	特別徴収10期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
146		特別徴収11期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
147		特別徴収12期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
148		特別徴収13期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
149		更正後普通徴収額1 - 納付済普通徴収額1 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
150		更正後普通徴収額2 - 納付済普通徴収額2 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
151		更正後普通徴収額3 - 納付済普通徴収額3 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
152		更正後普通徴収額4 - 納付済普通徴収額4 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
153		更正後普通徴収額5 - 納付済普通徴収額5 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
154		更正後普通徴収額6 - 納付済普通徴収額6 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
155		更正後普通徴収額7 - 納付済普通徴収額7 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
156		更正後普通徴収額8 - 納付済普通徴収額8 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
157		更正後普通徴収額9 - 納付済普通徴収額9 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
158		更正後普通徴収額10 - 納付済普通徴収額10 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
159		更正後普通徴収額11 - 納付済普通徴収額11 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
160		更正後普通徴収額12 - 納付済普通徴収額12 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
161		更正後普通徴収額13 - 納付済普通徴収額13 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
162	差引普通徴収額1～13の合計値 差引特別徴収額1～13の合計値 特別徴収が存在しない場合、"*****"を設定	●				●	
163	更正後特別徴収額1 - 納付済特別徴収額1 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
164	更正後特別徴収額2 - 納付済特別徴収額2 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
165	更正後特別徴収額3 - 納付済特別徴収額3 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
166	更正後特別徴収額4 - 納付済特別徴収額4 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
167	更正後特別徴収額5 - 納付済特別徴収額5 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
168	更正後特別徴収額6 - 納付済特別徴収額6 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
169	更正後特別徴収額7 - 納付済特別徴収額7 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
170	更正後特別徴収額8 - 納付済特別徴収額8 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
171	更正後特別徴収額9 - 納付済特別徴収額9 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
172	更正後特別徴収額10 - 納付済特別徴収額10 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
173	更正後特別徴収額11 - 納付済特別徴収額11 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
174	更正後特別徴収額12 - 納付済特別徴収額12 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
175	更正後特別徴収額13 - 納付済特別徴収額13 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
176	差引特別徴収額13 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●				●	
177	賦課明細 決定前医療分所得割課税標準額	本算定時は"*****"を設定 所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
178	決定前医療分所得割税率	本算定時は"****"を設定	●			●	
179	決定前医療分所得割税率	本算定時は"*****"を設定	●			●	
180	決定前医療分均等割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
181	決定前医療分均等割人数	本算定時は“*”を設定	●				
182	決定前医療分均等割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
183	決定前医療分合計	本算定時は“*****”を設定	●			●	
184	決定前支援金分所得割課税標準額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
185	決定前支援金分所得割税率	支援金所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は“*****”を設定	●			●	
186	決定前支援金分所得割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
187	決定前支援金分均等割課税標準額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
188	決定前支援金分均等割人数	本算定時は“*”を設定	●			●	
189	決定前支援金分均等割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
190	決定前支援金分合計	本算定時は“*****”を設定	●			●	
191	決定前介護分所得割課税標準額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
192	決定前介護分所得割税率	介護分所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は“*****”を設定	●			●	
193	決定前介護分所得割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
194	決定前介護分均等割課税標準額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
195	決定前介護分均等割人数	本算定時は“*”を設定	●			●	
196	決定前介護分均等割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
197	決定前介護分合計	本算定時は“*****”を設定	●			●	
198	決定前子ども分所得割課税標準額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
199	決定前子ども分所得割税率	子ども分所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は“*****”を設定	●			●	
200	決定前子ども分所得割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
201	決定前子ども分均等割課税標準額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
202	決定前子ども分均等割人数	本算定時は“*”を設定	●			●	
203	決定前子ども分均等割税額	本算定時は“*****”を設定	●			●	オプション項目「決定前子ども分18歳以上均等割税額」を出力しない場合、18歳以上均等割額を含む
204	決定前子ども分18歳以上均等割税額	本算定時は“*****”を設定		●			
205	決定前子ども分18歳以上均等割人数	本算定時は“*”を設定		●			
206	決定前子ども分合計	本算定時は“*****”を設定	●			●	
207	決定後医療分所得割課税標準額	所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
208	決定後医療分所得割税率		●			●	
209	決定後医療分所得割税額		●			●	
210	決定後医療分均等割課税標準額		●			●	
211	決定後医療分均等割人数		●			●	
212	決定後医療分均等割税額		●			●	
213	決定後医療分合計		●			●	
214	決定後支援金分所得割課税標準額		●			●	
215	決定後支援金分所得割税率		●			●	
216	決定後支援金分所得割税額	支援金所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
217	決定後支援金分均等割課税標準額		●			●	
218	決定後支援金分均等割人数		●			●	
219	決定後支援金分均等割税額		●			●	
220	決定後支援金分合計		●			●	
221	決定後介護分所得割課税標準額	介護分所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
222	決定後介護分所得割税率		●			●	
223	決定後介護分所得割税額		●			●	
224	決定後介護分均等割課税標準額		●			●	
225	決定後介護分均等割人数		●			●	
226	決定後介護分均等割税額		●			●	
227	決定後介護分合計		●			●	
228	決定後子ども分所得割課税標準額		●			●	
229	決定後子ども分所得割税率	子ども分所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
230	決定後子ども分所得割税額		●			●	
231	決定後子ども分均等割課税標準額		●			●	
232	決定後子ども分均等割人数		●			●	
233	決定後子ども分均等割税額		●			●	項目「決定後子ども分18歳以上均等割税額」を賦課明細に内訳として出力しない場合、18歳以上均等割額を含む
234	決定後子ども分18歳以上均等割人数			●			納入通知書に18歳以上均等割税額を出力し、被保険者に通知する必要があることから、実装必須とする。
235	決定後子ども分18歳以上均等割税額		●			●	
236	決定後子ども分合計		●			●	
237	決定後軽減割		●			●	
238	決定前医療分所得割課税標準額	本算定時は“*****”を設定		●		●	産前産後軽減額を含む

表紙	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における経緯・留意事項等
239	決定前医療分均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
240		本算定時は"*****"を設定		●		●	
241		本算定時は"*****"を設定		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプシヨンとする。
242		本算定時は"*****"を設定		●			
243		本算定時は"*****"を設定	●			●	
244		本算定時は"*****"を設定	●			●	
245		本算定時は"*****"を設定	●			●	
246		本算定時は"*****"を設定	●			●	
247		本算定時は"*****"を設定	●			●	
248		本算定時は"*****"を設定		●		●	産前産後軽減額を含む
249		本算定時は"*****"を設定		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
250		本算定時は"*****"を設定		●		●	
251		本算定時は"*****"を設定		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプシヨンとする。
252		本算定時は"*****"を設定		●			
253		本算定時は"*****"を設定	●			●	
254		本算定時は"*****"を設定	●			●	
255		本算定時は"*****"を設定	●			●	
256		本算定時は"*****"を設定	●			●	
257		本算定時は"*****"を設定	●			●	
258		本算定時は"*****"を設定		●		●	産前産後軽減額を含む
259		本算定時は"*****"を設定		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
260	決定前介護分均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	
261		本算定時は"*****"を設定		●			
262		本算定時は"*****"を設定	●			●	
263		本算定時は"*****"を設定	●			●	
264		本算定時は"*****"を設定	●			●	
265		本算定時は"*****"を設定	●			●	
266		本算定時は"*****"を設定	●			●	
267		本算定時は"*****"を設定		●		●	産前産後軽減額を含む
268		本算定時は"*****"を設定		●		●	未就学児均等割軽減額、産前産後軽減額及び18歳未満均等割軽減額を含む
269		本算定時は"*****"を設定		●			
270		本算定時は"*****"を設定		●			
271		本算定時は"*****"を設定		●		●	軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプシヨンとする。
272		本算定時は"*****"を設定		●			
273		本算定時は"*****"を設定		●			
274		本算定時は"*****"を設定		●			
275		本算定時は"*****"を設定		●			
276		本算定時は"*****"を設定	●			●	
277		本算定時は"*****"を設定	●			●	
278		本算定時は"*****"を設定	●			●	
279		本算定時は"*****"を設定	●			●	
280		本算定時は"*****"を設定	●			●	
281		本算定時は"*****"を設定	●			●	
282		本算定時は"*****"を設定		●		●	産前産後軽減額を含む
283	決定後医療分均等割軽減額			●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
284				●		●	
285				●		●	軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプシヨンとする。
286							
287			●			●	
288			●			●	
289			●			●	
290			●			●	
291			●			●	
292				●		●	産前産後軽減額を含む

表紙	賦課管理	帳票名称 用紙サイズ	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
293		決定後支援金分均等割軽減額		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
294		決定後支援金分平等割軽減額		●		●	
295		決定後支援金分未就学児均等割軽減額		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
296		決定後支援金分産前産後軽減額		●			
297		決定後支援金分軽減額	●			●	
298		決定後支援金分限度超過額	●			●	
299		決定後支援金分月割増減額	●			●	
300		決定後支援金分減免額	●			●	
301		決定後支援金分年間保険料額	●			●	
302		決定後介護分所得割軽減額		●		●	産前産後軽減額を含む
303		決定後介護分均等割軽減額		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
304		決定後介護分平等割軽減額		●		●	
305		決定後介護分産前産後軽減額		●			
306		決定後介護分軽減額	●			●	
307		決定後介護分限度超過額	●			●	
308		決定後介護分月割増減額	●			●	
309		決定後介護分減免額	●			●	
310		決定後介護分年間保険料額	●			●	
311		決定後子ども分所得割軽減額		●		●	産前産後軽減額を含む
312		決定後子ども分均等割軽減額		●		●	未就学児均等割軽減額、産前産後軽減額及び18歳未満均等割軽減額を含む
313		決定後子ども分18歳以上均等割軽減額		●			
314		決定後子ども分平等割軽減額		●		●	
315		決定後子ども分未就学児均等割軽減額		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
316		決定後子ども分産前産後軽減額		●			
317		決定後子ども分均等割産前産後軽減額		●			
318		決定後子ども分18歳以上均等割産前産後軽減額		●			
319		決定後子ども分18歳未満均等割軽減額		●			
320		決定後子ども分軽減額	●			●	
321		決定後子ども分限度超過額	●			●	
322		決定後子ども分月割増減額	●			●	
323		決定後子ども分減免額	●			●	
324		決定後子ども分年間保険料額	●			●	
325		決定前合計額	●			●	
326		決定後合計額	●			●	
327		医療分最高限度額		●			子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スベースを確保するため、標準オプションとする。
328		支援金分最高限度額		●			子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スベースを確保するため、標準オプションとする。
329		介護分最高限度額		●			子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スベースを確保するため、標準オプションとする。
330		子ども分最高限度額		●			
331	個人明細 1人目	被保険者氏名	●	●		●	
332		被保険者医療分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
333		被保険者支援金分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
334		被保険者介護分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。

業務	賦課管理	帳票名称	
		37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用	不定形用紙
		用紙サイズ	

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
335		被保険者子ども分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
336		被保険者所得割算定基礎額		●			所得割額の根拠を出力することを可能とするため、標準オプションとする。
337		被保険者医療分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
338		被保険者支援金分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
339		被保険者介護分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
340		被保険者子ども分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
341		個人別概算保険料額		●			個人毎の概算保険料の問い合わせを受けることもあり、問い合わせを削減することで事務の負担軽減が目的として個人別概算保険料額を標準オプションとする。
342		未申告該当区分		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
343		医療分区分1～12	医療分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（養制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
344		支援金分区分1～12	支援金分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（養制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
345		介護分区分1～12	介護分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（養制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
346		子ども分区分1～12	子ども分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（養制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。

業務	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
347	2人目	被保険者氏名	●			●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
348		被保険者医療分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
349		被保険者支援金分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
350		被保険者介護分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
351		被保険者子ども分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
352		被保険者所得割算定基礎額		●			所得割額の根拠を出力することを可能とするため、標準オプションとする。
353		被保険者医療分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
354		被保険者支援金分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
355		被保険者介護分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
356		被保険者子ども分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
357		個人別概算保険料額		●			個人毎の概算保険料の問い合わせを受けるともあり、問い合わせを削減することで事務の負担軽減が目的として個人別概算保険料額を標準オプションとする。
358		未申告該当区分		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
359		医療分区分1～12		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
360		支援金分区分1～12		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
361		介護分区分1～12		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
362	・・・ 9人目	子ども分区分1～12		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
363				●		●	子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スペースを確保するため、12人目まで出力していた個人明細の出力件数を9人目までとする。
364		被保険者氏名	●			●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
365		被保険者医療分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。

業務	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
366		被保険者支援金分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
367		被保険者介護分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
368		被保険者子ども均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
369		被保険者所得割算定基礎額		●			所得割額の根拠を出力することを可能とするため、標準オプションとする。
370		被保険者医療分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
371		被保険者支援金分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
372		被保険者介護分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
373		被保険者子ども分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
374		個人別概算保険料額		●			個人毎の概算保険料の問い合わせを受けるともであり、問い合わせを削減することで事務の負担軽減が目的として個人別概算保険料額を標準オプションとする。
375		未申告該当区分	未申告の場合、“未申告”を設定	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
376		医療分区分1～12	医療分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
377		支援金分区分1～12	支援金分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
378		介護分区分1～12	介護分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
379		子ども分区分1～12	子ども分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
380		文言3	個人明細件数 > 0 の場合、“左記被保険者以外他 x x 名。詳細はお問い合わせください。”	●		●	
381		変更理由	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	市区町村によって賦課更正の理由（事由）の表し方は様々であり、個人毎の更正事由ではなく、世帯で集約した異動事由を出力する事例もあることから、個人毎の異動事由は標準オプションとする。
382		異動年月日 1 件目	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
383		異動対象者	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
384		変更理由 2 件目	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
385		異動年月日	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
386		異動対象者	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
387		・・・		●		●	
388		変更理由 2 0 件目	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
389		異動年月日	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
390		異動対象者	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●		●	
391	納付書	■ 帳票詳細要件シート：賦課-35 ■ 帳票詳細要件シート：賦課-36 参照	※期数分作成する	●		●	市区町村で採用している納付書様式及び期数に合わせ、納付書を作成する。

業務	帳簿管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等 帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を 標準オプションとする。
392	返送用登録番号			●			
393	通知文		●			●	
394	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
395	問い合わせ先 住所		●			●	
396	問い合わせ先 課名		●			●	
397	問い合わせ先 電話番号		●			●	

帳票詳細要件 国民健康保険システム

表紙	帳票管理	帳票名称 用紙サイズ	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用 不定形用紙
----	------	---------------	-------------------------------

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	賦課年度	和暦表記	●			●	
2	発送日	和暦表記	●			●	
3	通知書名		●			●	
4	郵便番号		●			●	
5	住所		●			●	
6	氏名		●			●	
7	被保険者番号		●			●	
8	通知書番号	(引抜用番号)	●			●	帳票レイアウトへの反映については令和8年度の検討 において実施する方針とする。
9	納付義務者氏名		●				帳票レイアウトへの反映については令和8年度の検討 において実施する方針とする。
10	納付義務者住所		●				
11	文言1	“あなたの国民健康保険税（料）について次のとおり決定しましたので通知します”	●			●	
12	前回決定額	本算定時は“*****”を設定	●			●	
13	今回決定税額		●			●	
14	証明者名		●			●	
15	証明者役職名		●			●	
16	公印	当該帳票を発行する保険者の公印	●			●	
17	カスタマーバーコード		●			●	
18	特別徴収関連連情報	徴収方法	●			●	
19		氏名	●			●	国保料については国保法施行規則第32条の19、国保 税については地方税法第七百十八条の三 および 地 方税法施行規則第二十四条の三十二において、通知 が規定されていることから、実施必須とする。
20		生年月日	●			●	
21		性別	●			●	
22		住所	●			●	
23	特別徴収義務者	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
24	特別徴収対象年金	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
25	特別徴収対象年金額	仮徴収額又は本徴収額がある場合に設定	●			●	
26	文言2	“（来年度の仮徴収のご案内）来年度の4月、6月、8月は特別徴収仮徴収額とし て2月の特別徴収額と同額が天引きされます。”	●			●	
27	期別情報	和暦表記	●			●	
28	普通徴収納期1	普通徴収1期	●			●	
29	普通徴収納期2	普通徴収2期	●			●	
30	普通徴収納期3	普通徴収3期	●			●	
31	普通徴収納期4	普通徴収4期	●			●	
32	普通徴収納期5	普通徴収5期	●			●	
33	普通徴収納期6	普通徴収6期	●			●	
34	普通徴収納期7	普通徴収7期	●			●	
35	普通徴収納期8	普通徴収8期	●			●	
36	普通徴収納期9	普通徴収9期	●			●	
37	普通徴収納期10	普通徴収10期	●			●	
38	普通徴収納期11	普通徴収11期	●			●	
39	普通徴収納期12	普通徴収12期	●			●	
40	普通徴収納期13	普通徴収13期	●			●	
41	普通徴収1期納期限	普通徴収1期	●			●	
42	普通徴収2期納期限	普通徴収2期	●			●	
43	普通徴収3期納期限	普通徴収3期	●			●	
44	普通徴収4期納期限	普通徴収4期	●			●	
45	普通徴収5期納期限	普通徴収5期	●			●	
46	普通徴収6期納期限	普通徴収6期	●			●	
47	普通徴収7期納期限	普通徴収7期	●			●	
48	普通徴収8期納期限	普通徴収8期	●			●	
49	普通徴収9期納期限	普通徴収9期	●			●	
50	普通徴収10期納期限	普通徴収10期	●			●	
51	普通徴収11期納期限	普通徴収11期	●			●	
52	普通徴収12期納期限	普通徴収12期	●			●	
53	普通徴収13期納期限	普通徴収13期	●			●	
54	更正後普通徴収額合計	更正後普通徴収額1～13の合計 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
55	更正後特別徴収額合計	更正後特別徴収額1～13の合計 * 特別徴収01期～特別徴収06期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
56	更正前普通徴収額合計	更正前普通徴収額1～13の合計 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	

表紙	帳簿管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
57		更正前特別徴収額合計 * 特別徴収01期～特別徴収06期 特別徴収額が存在しない場合→"*****"	●			●	
58		更正後普通徴収額1 普通徴収1期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
59		更正後普通徴収額2 普通徴収2期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
60		更正後普通徴収額3 普通徴収3期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
61		更正後普通徴収額4 普通徴収4期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
62		更正後普通徴収額5 普通徴収5期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
63		更正後普通徴収額6 普通徴収6期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
64		更正後普通徴収額7 普通徴収7期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
65		更正後普通徴収額8 普通徴収8期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
66		更正後普通徴収額9 普通徴収9期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
67		更正後普通徴収額10 普通徴収10期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
68		更正後普通徴収額11 普通徴収11期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
69		更正後普通徴収額12 普通徴収12期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
70		更正後普通徴収額13 普通徴収13期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
71		更正後特別徴収額1 特別徴収1期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
72		更正後特別徴収額2 特別徴収2期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
73		更正後特別徴収額3 特別徴収3期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
74		更正後特別徴収額4 特別徴収4期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
75		更正後特別徴収額5 特別徴収5期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
76		更正後特別徴収額6 特別徴収6期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
77		更正後特別徴収額7 特別徴収7期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
78		更正後特別徴収額8 特別徴収8期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
79		更正後特別徴収額9 特別徴収9期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
80		更正後特別徴収額10 特別徴収10期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
81		更正後特別徴収額11 特別徴収11期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
82		更正後特別徴収額12 特別徴収12期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
83		更正後特別徴収額13 特別徴収13期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
84		更正前普通徴収額1 普通徴収1期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
85		更正前普通徴収額2 普通徴収2期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
86		更正前普通徴収額3 普通徴収3期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
87		更正前普通徴収額4 普通徴収4期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
88		更正前普通徴収額5 普通徴収5期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
89		更正前普通徴収額6 普通徴収6期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	

業務	賦課管理	帳票名称	
		37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用	不定形用紙
		用紙サイズ	

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
90	更正前普通徴収額	普通徴収7期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
91		普通徴収8期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
92		普通徴収9期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
93		普通徴収10期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
94		普通徴収11期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
95		普通徴収12期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
96		普通徴収13期 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
97		特別徴収1期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
98		特別徴収2期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
99		特別徴収3期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
100		特別徴収4期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
101	更正前特別徴収額	特別徴収5期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
102		特別徴収6期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
103		特別徴収7期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
104		特別徴収8期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
105		特別徴収9期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
106		特別徴収10期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
107		特別徴収11期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
108		特別徴収12期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
109		特別徴収13期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
110		納付済普通徴収額合計 納付済特別徴収額1～13の合計値	●			●	
111		納付済特別徴収額合計	●			●	
112	納付年月1	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
113	納付年月2	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
114	納付年月3	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
115	納付年月4	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
116	納付年月5	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	
117	納付年月6	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…○年4月） 和暦表記	●			●	

業務	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
118	納付年月7	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
119	納付年月8	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
120	納付年月9	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
121	納付年月10	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
122	納付年月11	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
123	納付年月12	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
124	納付年月13	普通徴収の場合、納期限に対応した年月 特別徴収の場合、特別徴収期に対応する年月（例：特別徴収1期の場合…〇年4月） 和暦表記	●			●	
125	納付済普通徴収額1	普通徴収1期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
126	納付済普通徴収額2	普通徴収2期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
127	納付済普通徴収額3	普通徴収3期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
128	納付済普通徴収額4	普通徴収4期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
129	納付済普通徴収額5	普通徴収5期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
130	納付済普通徴収額6	普通徴収6期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
131	納付済普通徴収額7	普通徴収7期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
132	納付済普通徴収額8	普通徴収8期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
133	納付済普通徴収額9	普通徴収9期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
134	納付済普通徴収額10	普通徴収10期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
135	納付済普通徴収額11	普通徴収11期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
136	納付済普通徴収額12	普通徴収12期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
137	納付済普通徴収額13	普通徴収13期 普通徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
138	納付済特別徴収額1	特別徴収1期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
139	納付済特別徴収額2	特別徴収2期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
140	納付済特別徴収額3	特別徴収3期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
141	納付済特別徴収額4	特別徴収4期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
142	納付済特別徴収額5	特別徴収5期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
143	納付済特別徴収額6	特別徴収6期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	
144	納付済特別徴収額7	特別徴収7期 特別徴収が存在しない場合→“*****”	●			●	

表紙	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳一般）_2方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
145	納付済特別徴収額8 納付済特別徴収額9 納付済特別徴収額10 納付済特別徴収額11 納付済特別徴収額12 納付済特別徴収額13 差引普通徴収額1 差引普通徴収額2 差引普通徴収額3 差引普通徴収額4 差引普通徴収額5 差引普通徴収額6 差引普通徴収額7 差引普通徴収額8 差引普通徴収額9 差引普通徴収額10 差引普通徴収額11 差引普通徴収額12 差引普通徴収額13 決定前医療分所得割課税標準額	特別徴収8期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
146		特別徴収9期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
147		特別徴収10期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
148		特別徴収11期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
149		特別徴収12期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
150		特別徴収13期 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
151		更正後普通徴収額1 - 納付済普通徴収額1 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
152		更正後普通徴収額2 - 納付済普通徴収額2 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
153		更正後普通徴収額3 - 納付済普通徴収額3 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
154		更正後普通徴収額4 - 納付済普通徴収額4 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
155		更正後普通徴収額5 - 納付済普通徴収額5 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
156		更正後普通徴収額6 - 納付済普通徴収額6 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
157		更正後普通徴収額7 - 納付済普通徴収額7 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
158		更正後普通徴収額8 - 納付済普通徴収額8 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
159		更正後普通徴収額9 - 納付済普通徴収額9 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
160		更正後普通徴収額10 - 納付済普通徴収額10 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
161		更正後普通徴収額11 - 納付済普通徴収額11 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
162		更正後普通徴収額12 - 納付済普通徴収額12 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
163		更正後普通徴収額13 - 納付済普通徴収額13 普通徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
164		差引普通徴収額合計 差引特別徴収額合計	●			●	
165		差引特別徴収額1～130の合計値 特別徴収が存在しない場合、"*****"を設定	●			●	
166		更正後特別徴収額1 - 納付済特別徴収額1 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
167		更正後特別徴収額2 - 納付済特別徴収額2 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
168		更正後特別徴収額3 - 納付済特別徴収額3 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
169		更正後特別徴収額4 - 納付済特別徴収額4 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
170		更正後特別徴収額5 - 納付済特別徴収額5 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
171		更正後特別徴収額6 - 納付済特別徴収額6 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
172		更正後特別徴収額7 - 納付済特別徴収額7 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
173		更正後特別徴収額8 - 納付済特別徴収額8 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
174		更正後特別徴収額9 - 納付済特別徴収額9 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
175		更正後特別徴収額10 - 納付済特別徴収額10 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
176		更正後特別徴収額11 - 納付済特別徴収額11 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
177		更正後特別徴収額12 - 納付済特別徴収額12 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
178		更正後特別徴収額13 - 納付済特別徴収額13 特別徴収が存在しない場合→"*****"	●			●	
179	賦課明細	決定前医療分所得割課税標準額 本算定時は"*****"を設定	●			●	

表紙	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
180	決定前医療分所得割税率	所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は"****"を設定	●			●	
181	決定前医療分所得割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
182	決定前医療分均等割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
183	決定前医療分均等割人数	本算定時は"＊"を設定	●			●	
184	決定前医療分均等割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
185	決定前医療分合計	本算定時は"*****"を設定	●			●	
186	決定前支援金分所得割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
187	決定前支援金分所得割税率	支援金所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は"****"を設定	●			●	
188	決定前支援金分所得割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
189	決定前支援金分均等割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
190	決定前支援金分均等割人数	本算定時は"＊"を設定	●			●	
191	決定前支援金分均等割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
192	決定前支援金分合計	本算定時は"*****"を設定	●			●	
193	決定前介護分所得割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
194	決定前介護分所得割税率	介護所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は"****"を設定	●			●	
195	決定前介護分所得割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
196	決定前介護分均等割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
197	決定前介護分均等割人数	本算定時は"＊"を設定	●			●	
198	決定前介護分均等割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
199	決定前介護分合計	本算定時は"*****"を設定	●			●	
200	決定前子ども分所得割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
201	決定前子ども分所得割税率	子ども所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示 本算定時は"****"を設定	●			●	
202	決定前子ども分所得割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
203	決定前子ども分均等割課税標準額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
204	決定前子ども分均等割人数	本算定時は"＊"を設定	●			●	
205	決定前子ども分均等割税額	本算定時は"*****"を設定	●			●	オプション項目「決定前子ども分18歳以上均等割税額」を含む
206	決定前子ども分18歳以上均等割税額	本算定時は"*****"を設定		●			
207	決定前子ども分18歳以上均等割人数	本算定時は"＊"を設定		●			
208	決定前子ども分合計	本算定時は"*****"を設定	●			●	
209	決定後医療分所得割課税標準額		●			●	
210	決定後医療分所得割税率	所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
211	決定後医療分所得割税額		●			●	
212	決定後医療分均等割課税標準額		●			●	
213	決定後医療分均等割人数		●			●	
214	決定後医療分均等割税額		●			●	
215	決定後医療分合計		●			●	
216	決定後支援金分所得割課税標準額		●			●	
217	決定後支援金分所得割税率	支援金所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
218	決定後支援金分所得割税額		●			●	
219	決定後支援金分均等割課税標準額		●			●	
220	決定後支援金分均等割人数		●			●	
221	決定後支援金分均等割税額		●			●	
222	決定後支援金分合計		●			●	
223	決定後介護分所得割課税標準額		●			●	
224	決定後介護分所得割税率	介護所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
225	決定後介護分所得割税額		●			●	
226	決定後介護分均等割課税標準額		●			●	
227	決定後介護分均等割人数		●			●	
228	決定後介護分均等割税額		●			●	
229	決定後介護分合計		●			●	
230	決定後子ども分所得割課税標準額		●			●	
231	決定後子ども分所得割税率	子ども所得割税率（百分率）を小数第2位まで表示	●			●	
232	決定後子ども分所得割税額		●			●	
233	決定後子ども分均等割課税標準額		●			●	
234	決定後子ども分均等割人数		●			●	
235	決定後子ども分均等割税額		●			●	項目「決定後子ども分18歳以上均等割税額」を賦課 明細に内訳として出力しない場合、18歳以上均等割 税を含む
236	決定後子ども分18歳以上均等割人数			●			

表紙	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
237	決定後子ども分18歳以上均等割税額		●			●	納入通知書に18歳以上均等割税額を出力し、被保険者に通知する必要があることから、実装必須とする。
238	決定後子ども分合計		●			●	
239	決定後軽減割		●			●	
240	決定前医療分所得割軽減額	本算定時は"*****"を設定	●	●		●	産前産後軽減減額を含む、 未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減減額を含む
241	決定前医療分均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定	●	●		●	
242	決定前医療分平等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	
243	決定前医療分未就学児均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
244	決定前医療分産前産後軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
245	決定前医療分軽減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
246	決定前医療分限度超過額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
247	決定前医療分月割増減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
248	決定前医療分減免額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
249	決定前医療分年間保険料額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
250	決定前支援金分所得割軽減額	本算定時は"*****"を設定	●	●		●	産前産後軽減減額を含む
251	決定前支援金分均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減減額を含む
252	決定前支援金分平等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	
253	決定前支援金分未就学児均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
254	決定前支援金分産前産後軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
255	決定前支援金分軽減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
256	決定前支援金分限度超過額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
257	決定前支援金分月割増減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
258	決定前支援金分減免額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
259	決定前支援金分年間保険料額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
260	決定前介護分所得割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	産前産後軽減減額を含む
261	決定前介護分均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減減額を含む
262	決定前介護分平等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	
263	決定前介護分産前産後軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
264	決定前介護分軽減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
265	決定前介護分限度超過額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
266	決定前介護分月割増減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
267	決定前介護分減免額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
268	決定前介護分年間保険料額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
269	決定前子ども分所得割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	産前産後軽減減額を含む、 未就学児均等割軽減額、産前産後軽減減額及び18歳未満均等割軽減額を含む
270	決定前子ども分均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	
271	決定前子ども分18歳以上均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
272	決定前子ども分平等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●		●	
273	決定前子ども分未就学児均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
274	決定前子ども分産前産後軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
275	決定前子ども分均等割産前産後軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
276	決定前子ども分18歳以上均等割産前産後軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
277	決定前子ども分18歳未満均等割軽減額	本算定時は"*****"を設定		●			
278	決定前子ども分軽減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
279	決定前子ども分限度超過額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
280	決定前子ども分月割増減額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
281	決定前子ども分減免額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
282	決定前子ども分年間保険料額	本算定時は"*****"を設定	●			●	
283	決定前軽減割	本算定時は"*****"を設定		●		●	
284	決定後医療分所得割軽減額			●		●	産前産後軽減減額を含む、 未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減減額を含む
285	決定後医療分均等割軽減額			●		●	
286	決定後医療分平等割軽減額			●		●	
287	決定後医療分未就学児均等割軽減額			●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
288	決定後医療分産前産後軽減額			●			

表紙	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
289		決定後医療分軽減額	●			●	
290		決定後医療分限度超過額	●			●	
291		決定後医療分月割増減額	●			●	
292		決定後医療分減免額	●			●	
293		決定後医療分年間保険料額	●			●	
294		決定後支援金分所得割軽減額		●		●	産前産後軽減額を含む
295		決定後支援金分均等割軽減額		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
296		決定後支援金分平等割軽減額		●		●	
297		決定後支援金分未就学児均等割軽減額		●			軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
298		決定後支援金分産前産後軽減額		●			
299		決定後支援金分軽減額	●			●	
300		決定後支援金分限度超過額	●			●	
301		決定後支援金分月割増減額	●			●	
302		決定後支援金分減免額	●			●	
303		決定後支援金分年間保険料額	●			●	
304		決定後介護分所得割軽減額		●		●	産前産後軽減額を含む
305		決定後介護分均等割軽減額		●		●	未就学児均等割軽減額及び産前産後軽減額を含む
306		決定後介護分平等割軽減額		●		●	
307		決定後介護分産前産後軽減額		●			
308		決定後介護分軽減額	●			●	
309		決定後介護分限度超過額	●			●	
310		決定後介護分月割増減額	●			●	
311		決定後介護分減免額	●			●	
312		決定後介護分年間保険料額	●			●	
313		決定後子ども分所得割軽減額					
314		決定後子ども分均等割軽減額		●		●	産前産後軽減額を含む
315		決定後子ども分18歳以上均等割軽減額		●		●	未就学児均等割軽減額、産前産後軽減額及び18歳未満均等割軽減額を含む
316		決定後子ども分平等割軽減額		●			
317		決定後子ども分未就学児均等割軽減額		●		●	軽減額の内訳として「所得割軽減額」、「均等割軽減額」、「平等割軽減額」の項目を追加したため標準オプションとする。
318		決定後子ども分産前産後軽減額					
319		決定後子ども分均等割産前産後軽減額		●			
320		決定後子ども分18歳以上均等割産前産後軽減額		●			
321		決定後子ども分18歳未満均等割軽減額		●			
322		決定後子ども分軽減額	●			●	
323		決定後子ども分限度超過額	●			●	
324		決定後子ども分月割増減額	●			●	
325		決定後子ども分減免額	●			●	
326		決定後子ども分年間保険料額	●			●	
327		決定前合計額	●			●	
328		決定後合計額	●			●	
329		医療分最高限度額		●			子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スペースを確保するため、標準オプションとする。
330		支援金分最高限度額		●			子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スペースを確保するため、標準オプションとする。
331		介護分最高限度額		●			子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スペースを確保するため、標準オプションとする。
332	個人明細 1人目	子ども分最高限度額		●		●	
333		被保険者氏名	●			●	
334		被保険者医療分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課根拠の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。

表紙	医療管理		帳票名称		37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用	
			用紙サイズ		不定形用紙	

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	案件作成における 経緯・留意事項等
335		被保険者支援金分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
336		被保険者介護分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
337		被保険者子ども分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
338		被保険者所得割算定基礎額		●			所得割額の根拠を出力することを可能とするため、標準オプションとする。
339		被保険者医療分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
340		被保険者支援金分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
341		被保険者介護分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
342		被保険者子ども分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
343		個人別概算保険料額		●			個人毎の概算保険料の問い合わせを受けることもあり、問い合わせを削減することで事務の負担軽減が目的として個人別概算保険料額を標準オプションとする。
344		未申告該当区分	未申告の場合、“未申告”を設定	●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
345		医療区分1～12	医療分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（被制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
346		支援金区分1～12	支援金分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（被制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の医療給付の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。

発注	賦課管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳一般）_二方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
347		介護分区分1～12 介護分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（擬制世帯主） or “s”（失業者）		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
348		子ども分区分1～12 子ども分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（擬制世帯主） or “s”（失業者）		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
349	2人目	被保険者氏名	●			●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
350		被保険者医療分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
351		被保険者支援金分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
352		被保険者介護分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
353		被保険者子ども分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
354		被保険者所得割算定基礎額		●			所得割額の根拠を出力することを可能とするため、標準オプションとする。
355		被保険者医療分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
356		被保険者支援金分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
357		被保険者介護分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
358		被保険者子ども分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
359		個人別概算保険料額		●			個人毎の概算保険料の問い合わせを受けられることもあり、問い合わせを削減することで事務の負担軽減が目的として個人別概算保険料額を標準オプションとする。
360		未申告該当区分	未申告の場合、“未申告”を設定	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
361		医療分区分1～12	医療分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（擬制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
362		支援金分区分1～12	支援金分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（擬制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
363		介護分区分1～12	介護分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（擬制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
364		子ども分区分1～12	子ども分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（擬制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
365	・・・			●		●	

表紙	医療管理	
	帳票名称	用紙サイズ
	37 納入通知書（連帳 一般）_二方式用	不定形用紙

通番	システム印字項目 9人目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
366	被保険者氏名		●			●	子ども支援金分の賦課明細を追加することに伴い、出力スペースを確保するため、12人目まで出力していた個人明細の出力件数を9人目までとする。
367		被保険者医療分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
368		被保険者支援金分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
369		被保険者介護分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
370		被保険者子ども分均等割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
371		被保険者所得割算定基礎額		●			所得割額の根拠を出力することを可能とするため、標準オプションとする。
372		被保険者医療分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
373		被保険者支援金分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
374		被保険者介護分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
375		被保険者子ども分所得割		●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
376		個人別概算保険料額		●			個人毎の概算保険料の問い合わせを受けることもあり、問い合わせを削減することで事務の負担軽減が目的として個人別概算保険料額を標準オプションとする。
377		未申告該当区分	未申告の場合、“未申告”を設定	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
378		医療区分1～12	医療分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
379		支援金区分1～12	支援金分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
380		介護区分1～12	介護分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
381		子ども分区分1～12	子ども分4月～翌3月 打ち出し形式（例）“*”（資格あり） or “g”（縦制世帯主） or “s”（失業者）	●		●	市区町村によって被保険者の賦課税額の表し方は様々であることから編集形式は標準オプションとする。
382	文言3	個人明細外件数＞0の場合、“左記被保険者以外他x名。詳細はお問い合わせください。”					
383	変更理由	変更理由	●			●	市区町村によって賦課更正の理由（事由）の表し方は様々であり、個人毎の更正事由ではなく、世帯で集約した異動事由を出力する事例もあることから、個人毎の異動事由は標準オプションとする。
384	異動年月日	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●			●	
385	異動対象者	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●			●	
386	変更理由	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●			●	
387	異動年月日	※個人毎の更正事由は標準オプションとする	●			●	

業務	帳簿管理	帳票名称	37 納入通知書（連帳 一般）_ニ方式用
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
388		異動対象者	●			●	
389	・・・		●			●	
390	20件目	変更理由	●			●	
391		異動年月日	●			●	
392		異動対象者	●			●	
393	納付書	■帳票詳細要件 シート：賦課-35 ■ ■帳票詳細要件 シート：賦課-36 ■ 参照	●			●	市区町村で採用している納付書様式及び期数に合 わせて、納付書を作成する。
394	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を 標準オプションとする。
395	通知文		●			●	
396	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
397	問い合わせ先 住所		●			●	
398	問い合わせ先 課名		●			●	
399	問い合わせ先 電話番号		●			●	